

【防災メモ】

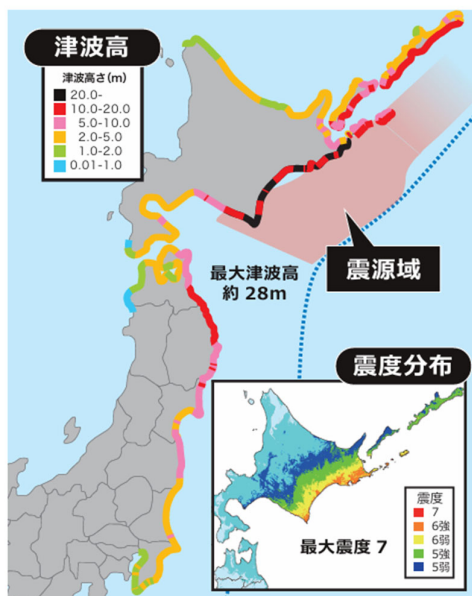
～千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震と 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」～

○千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震

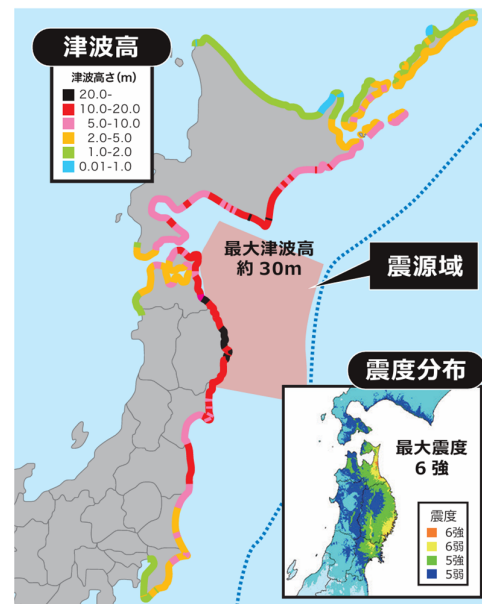
千島海溝・日本海溝沿いの領域では、過去に大きな津波を伴う巨大地震が繰り返し発生しています。津波の痕跡調査から、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の領域では、平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の大津波に匹敵する最大クラス津波を伴う巨大地震が約 300～400 年間隔で発生したとされており、17 世紀に発生した大津波からの経過時間を考えると、最大クラスの津波を伴う次の巨大地震が切迫していると考えられています。

2021 年 12 月に内閣府が公表した被害想定では、この巨大地震・大津波が発生すると、死者数は全国で最大約 19 万 9 千人と想定されています。特に冬季に発生した場合、北海道では吹雪や積雪により避難に時間を要することや、屋外や寒い屋内での避難は低体温症のリスクが生じるといった積雪寒冷地特有の課題があります。ただし、事前の備えと迅速な避難を行うことで人的被害を大きく減らすことができます。

千島海溝沿いの地震



日本海溝沿いの地震



千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震で想定される津波と震度

○北海道・三陸沖後発地震注意情報

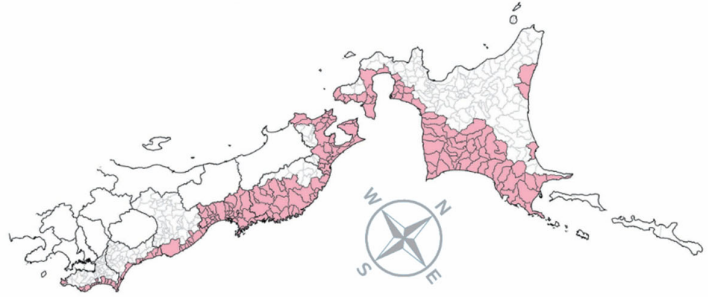
千島海溝・日本海溝沿いの領域ではモーメントマグニチュード (Mw) 7 以上の地震が発生した後、数日程度の短い期間においてさらに大きな Mw 8 クラス以上の巨大地震が発生する事例が確認されています。このような事例は、世界的には 100 回に 1 回程度で、実際に発生する確率は高くありません。しかし、一人でも多くの命を守るため、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震の想定震源域およびその周辺で Mw 7 以上の地震が発生した場合に、続いて発生する巨大地震（後発地震）への注意を促す「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表します。この情報は 2022 年 12 月から運用を開始しており、これまでに、昨年 12 月の青森県東方沖の地震と今年 4 月の三陸沖の地震の発生に伴い発表されています。

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表された場合に防災対応をとるべきエリア

北海道から千葉県にかけての広い範囲に及びます。

防災対応をとるべきエリアの基本的な考え方

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上の地域
- 地震防災対策の一体性から、防災対応をとるべきと考える地域



北海道・三陸沖後発地震注意情報発表時に防災対応をとるべき地域

この情報が発表された場合、直ちに避難をする必要はありませんが、防災対応をとるべき市町村にお住まいの方は、普段の生活を続けた上で、1週間程度は地震への備えの再確認、例えば家具等の固定、備蓄品の確認、避難場所・避難経路の確認、家族等の連絡方法の確認、また、津波浸水想定域にお住まいの方は、大きな揺れを感じたり津波警報を見聞きしたりした際に、すぐ避難できるような態勢を整えておくようにしましょう。また、防災対応をとるべき地域以外であっても、強い揺れや高い津波が生じる可能性はありますので、情報が発表された際には、平時からの地震への備えを再確認するなど、個々の状況に応じて後発地震に備えた対応をとることが重要です。

巨大地震が発生した場合に、北海道から千葉県にかけての広い範囲で想定される甚大な被害に対し、1週間程度、備えの再確認や迅速な避難態勢の準備を。

枕元に靴等を置いて寝る



すぐに逃げ出せる態勢の維持



非常持出品の常時携帯

インターネット



緊急情報の取得体制の確保

崩れやすいブロック塀等に近づかない



想定されるリスクから身の安全の確保



日頃からの備えの再確認

北海道・三陸沖後発地震注意情報発表時の防災対応

〇WEB サイト

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」(札幌管区気象台 HP)



<https://www.data.jma.go.jp/sapporo/jishin/kouhatsu.html>

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」普及啓発用動画(YouTube)



<https://youtu.be/Z3Zou0Z70V4>

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」子供向け動画(YouTube)



<https://youtu.be/ifDGXKntUik>